

# 軽井沢町版 レッドデータブックの策定 について

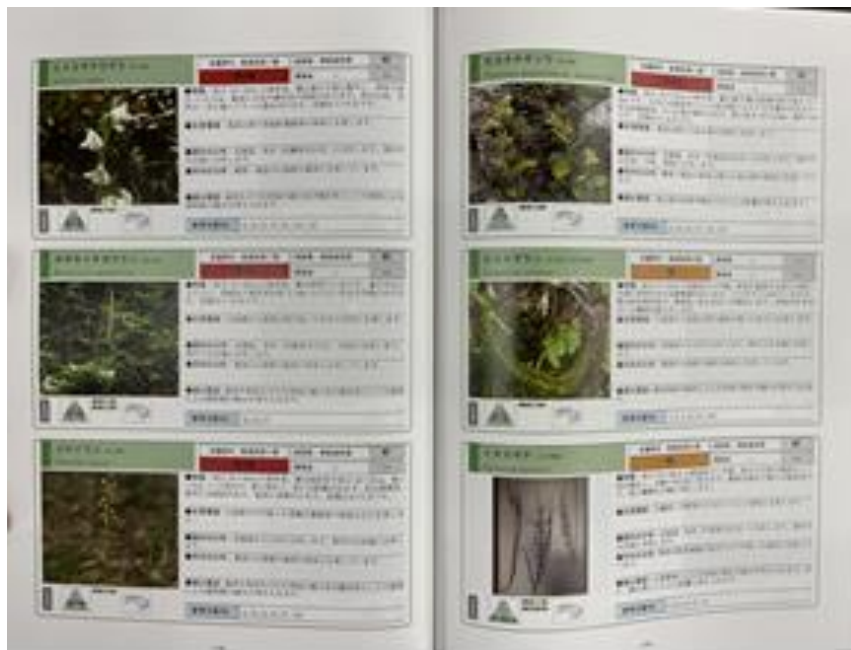
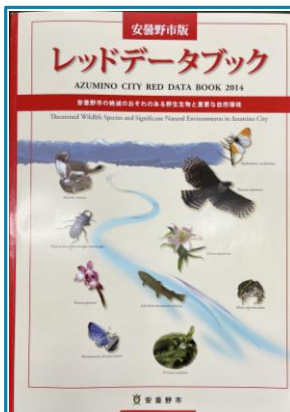
---

軽井沢町

# ① 軽井沢町版 レッドデータブック策定 全体方針

# ◆レッドデータブック(RDB)とは・・

「**レッドデータブック**」とは、**レッドリスト**(絶滅のおそれがある野生生物種のリスト)に**掲載**されている**種の生息状況**や**絶滅危惧の原因**などをまとめた**解説本**



# ◆国等のRDB策定の経緯

## 状況

現在の地球上における生物は、全種数が1,000万種とも3,000万種ともいわれているが、現在は年間に2～3万種もの生物が絶滅しているとの推定もあり、恐竜が絶滅した白亜紀末（約6,500万年前）をしのぐ速度で**大量絶滅が起きている**といわれている。

## 原因

これは、森林伐採や大気・水質汚染をはじめ、さまざまな**人間活動による地球環境の著しい悪化**などが大きな**原因**

## 国等の対策

このような状況を警告するため、**国際自然保護連合（IUCN）**は、国際的に絶滅のおそれのある野生生物の種をリストアップし、それらの生息状況などを解説した**レッドデータブック**を**発行**。その後、**各国で国内版のレッドデータブック**が作成されるようになり、さらに、**地方版**（都道府県版及び市町村版）の**レッドデータブック**が各地で刊行され、地域でも**絶滅のおそれがある生物**に関心が寄せられている。

# ◆なぜ今、軽井沢町にRDBが必要か

## 環境基本計画(令和5年度策定)

- ◆目的  
軽井沢町の自然環境を守り、持続可能な地域社会を築いていくために策定
- ◆施策・事業(一部)
  - ・子どもたちへの環境教育の取組みを実施
  - ・生物多様性の保全と向上に向けた取組みを実施

環境基本計画の  
目的を達成する

施策・事業を実施する  
ためにRDBが必要

RDBを活用し、施策・事業を行う

# ◆RDB策定の進め方

1. RDB策定後の活用イメージを見据えることが重要
2. 有識者を中心とした検討部会を設置
3. 検討部会は、RDB記載内容の検討(レッドリストの選定)や現地調査、情報収集など幅広く活躍
4. 動植物に精通し、RDB策定のノウハウ・実績を有する事業者へRDB策定業務を委託
5. 住民から情報収集
6. 住民の意識醸成を図るため、住民参加型の現地調査や、ワークショップ、子どもたちに向けた観察会、有識者による講演会、自然観察指導員の育成などを実施

# ◆RDBの具体的な活用方法

## ◆環境教育のための教材

環境問題に対する正しい理解や知識が重要であることから、RDBを子どもたちへの環境教育に活用する

## ◆保全活動のための資料

住民、企業、団体、行政など軽井沢町にかかわる全ての人たちが、RDBから正しい理解と知識を得て、絶滅のおそれがある野生生物の保全に努める

### 【具体例】

軽井沢町内における開発等の行為に際し、住民・事業者・行政などがRDBを活用し、絶滅のおそれがある野生生物の保全に努める

# ② 軽井沢町版 レッドデータブック策定 検討課題



# ◆調査対象地域の決定

軽井沢町の地勢の特徴

- ◆北部一帯 上信越高原国立公園
- ◆南部一帯 妙義荒船佐久高原国定公園

- ◆どの地域を調査対象地域とするか
- ◆国立・国定公園も調査対象地域に含めるか否か

【参考：長野県内 他市町村の状況】

市町村名	策定期期	調査対象地域
安曇野市	平成26(2014)年	市域全域
千曲市	平成23(2011)年	市域全域
塩尻市	平成18(2006)年	旧塩尻市内
白馬村	平成12(2000)年	標高1,500mライン以下

# ◆調査対象種の決定

軽井沢町に生息・生育する野生生物の内

◆どの種を調査対象種とするか

【レッドデータブックで調査対象とする生物】

区分		分類群	
植物		・維管束植物	・シダ植物・種子植物
		・維管束植物以外	・蘚苔類・藻類・地衣類・菌類
動物	脊椎動物	・哺乳類	
		・鳥類	
		・爬虫類	
		・両生類	
		・魚類(淡水魚類)	
	無脊椎動物	・昆虫類	・トンボ類・チョウ類・甲虫類・底生動物
		・その他無脊椎動物	・クモ類・貝類等

# ◆調査対象種の決定（詳細区分①）

軽井沢町に生育する野生植物の内

◆維管束植物以外（蘚苔類・藻類・地衣類・菌類）を調査対象とするか

【参考：長野県内 県及び他市町村の状況】

市町村名	維管束植物	維管束植物以外
長野県	対象	対象
安曇野市	対象	対象外
千曲市	対象	対象外
塩尻市	対象	対象外
白馬村	対象	対象外

# ◆調査対象種の決定(詳細区分②)

軽井沢町に生息する野生動物の内

◆無脊椎動物(昆虫類・その他の無脊椎動物)はどの種までを調査対象とするか

【参考:長野県内 県及び他市町村の状況】

市町村名	トンボ類	チョウ類	甲虫類	底生動物	クモ類	貝類
長野県	対象	対象	対象	対象	対象	対象
安曇野市	対象	対象	対象	対象	対象	対象
千曲市	対象	対象	対象	対象	対象	対象
塩尻市	対象	対象	対象	対象	対象外	対象
白馬村	対象	対象	対象	対象外	対象外	対象

底生動物

河川や湖沼などの水域に生息する動物のうち、主に川底や湖底、池の底などに生息する動物を指し、水性昆虫類やエビ・カニ類、ヒルやウズムシ(プラナリア)などの生物が含まれる。

# ◆RDB作成の方向性①

軽井沢町にかかわる**全ての**人たちが**RDB**を**最大限活用**できるように！



誰にとっても、わかりやすく、親しみやすい**RDB**



子どもたちでもわかる  
子どもたちが楽しめる**RDB**に！

# ◆RDB作成の方向性②-1

I 一般的なレッドリスト(絶滅のおそれがある野生生物種のリスト)の作成

パターン1  
↓

II 一般的な**RDB**の作成

パターン1  
↓

III 子どもたちでもわかる  
子どもたちが楽しめる  
**RDB普及版**の作成

パターン2  
↓

II 子どもたちでもわかる  
子どもたちが楽しめる  
**RDB**の作成

# ◆RDB作成の方向性②-2

## 【一般的なレッドリスト・RDBの例】

### □長野県版レッドリスト

#### EX ● 絶滅 (EX) : 18種

1	イノモトソウ科	アマクサシダ
2	ヒメウラボシ科	キレハオオクボシダ
3	クスノキ科	カゴノキ
4	キンポウゲ科	オオイチョウバイカモ
5	アブラナ科	ハナハタザオ
6	ツツジ科	ウバウルシ
7	リンドウ科	イヌセンブリ
8	シソ科	ヒメハッカ
9	シソ科	コナミキ
10	ゴマノハグサ科	オオアブノメ
11	ハマウツボ科	ナンバンギセル
12	キク科	キタダケヨモギ
13	キク科	イズハハコ
14	オモダカ科	マルバオモダカ
15	トチカガミ科	トチカガミ
16	イバラモ科	ヒメイバラモ
17	ホシクサ科	クロホシクサ
18	ラン科	オオミズトンボ

#### EW ● 野生絶滅 (EW) : 1種

1	↓ キク科	アイズヒメアザミ
---	-------	----------

### □千曲市RDB

#### 絶滅危惧 I A 類

長野県：指定なし 環境省：指定なし

#### チャセンシダ

【茶筌羊歯】

*Asplenium trichomanes* (細くて薄い)

チャセンシダ科 チャセンシダ属



#### 種の特徴

常緑のシダ植物で、10～30cm程度の茎が東生します。葉質は薄い紙質で、葉柄は紫褐色から黒褐色で翼がありません。中軸も紫褐色で、両側に狭い翼があります。

#### 生育環境

岩の上や石垣に生育しています。

#### 国内や県内の分布

北海道から九州に分布。県内は中部・南部に多く、北部では少ないです。

#### 市内の状況と絶滅危惧要因

森地区の風穴の一箇所のみに確認されています。

生育地は礫地の崩落地で、4～5個体のみの生育です。生育地の崩落、自然遷移による絶滅が危惧されています。

#### 特記事項

和名は、茎が東生するようすが抹茶を点てる茶筌に似ているため、とされています。

# ◆RDB作成の方向性③

## ◆副教材の作成検討

子どもたちが遊びを通じて、絶滅のおそれがある生物に関心をもってもらうために、RDBは別に、ゲーム性のある副教材の作成を検討する。

【例】

非公開情報

非公開情報

非公開情報



# ③ 軽井沢町版 レッドデータブック策定 までのスケジュール

# ◆策定までのスケジュール

年度 項目		令和 6 年度 (2024年度)				令和 7 年度 (2025年度)				令和 8 年度 (2026年度)				令和 9 年度 (2027年度)			
検討 部会	部会構成検討	↔															
	開催・活動	←															
策定 委託	事業者選定 (プロポ)					↔											
	業務期間																
その他	・情報収集 ・現地調査 ・WS ・観察会など																
		←															